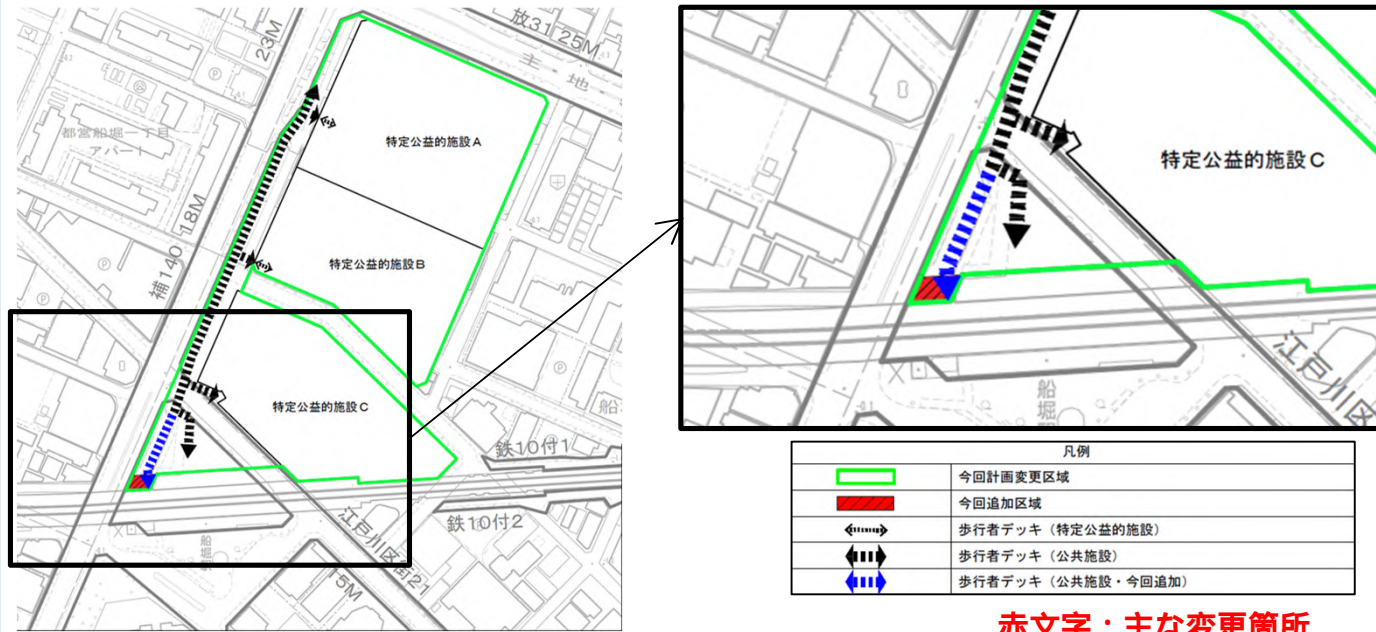


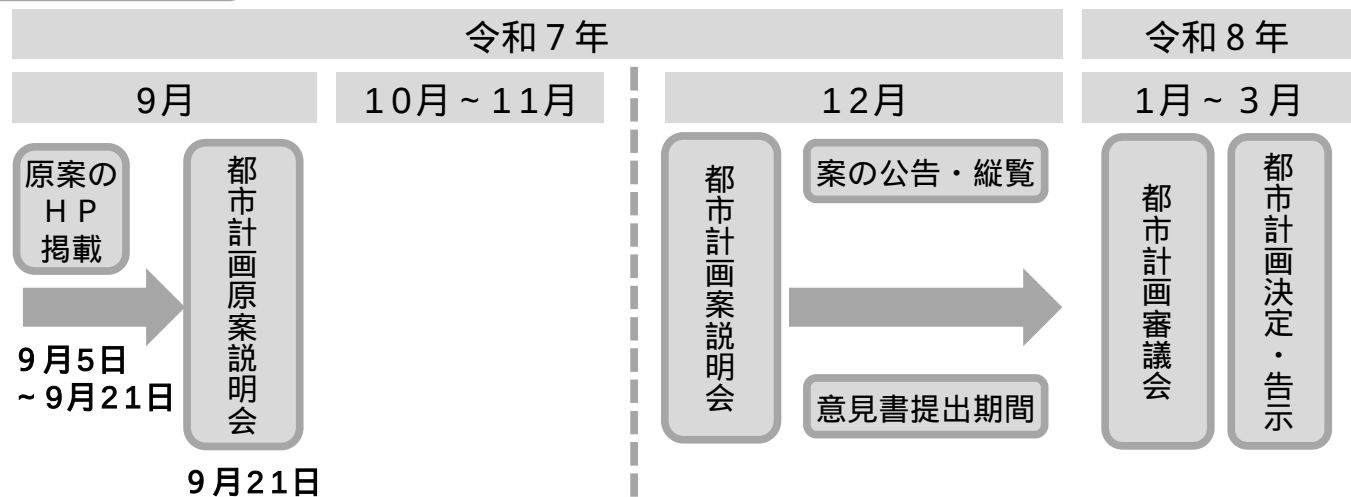
都市計画原案について

今回変更：歩行者デッキを船堀駅のホーム階まで延伸（延長：210m → 240m）



施設	面積	備考
特定公益的施設A	約0.9ha	区役所本庁舎に災害対応施設及び特定避難支援施設を配置する
特定公益的施設B	約0.7ha	店舗・住宅・事務所・駐車場の用途を中心とした施設に特定避難支援施設を配置する
特定公益的施設C	約0.8ha	総合区民ホールに特定避難支援施設を配置する
道路	約0.5ha	名称：区画街路、幅員：約15m、延長：約70m（整備済） 上記の他に特定公益的施設A、B、C及び都営新宿線船堀駅と接続する歩行者デッキ（幅員約3.5m、延長約240m）を浸水深以上の高さに配置する。
計	約2.9ha	

今後の予定



日程は広報えどがわ、江戸川区ホームページでお知らせします

船堀四丁目地区一団地の都市安全確保拠点施設に係る都市計画変更（歩行者デッキの延伸） 都市計画原案について

都市計画変更概要

- 船堀四丁目地区は、江戸川区水害ハザードマップにおいて最大で浸水深は3m～5m程度、浸水継続時間は1～2週間以上とされています。
- 令和2年12月に、国と都による『災害に強い首都「東京」形成ビジョン』が策定され、「高台まちづくり」のモデル地区として船堀地区が設定されました。
- これらを踏まえ、本区では、船堀駅前地区を対象に高台まちづくりの取組を具体的に進めていくため、高台まちづくりの基本的な考え方や基本方針を明らかにすることを目的に、「船堀駅前地区高台まちづくり基本方針」を策定しました。
- 本地区では、船堀四丁目地区市街地再開発事業で整備する庁舎棟、複合施設、さらにタワーホール船堀を歩行者デッキで接続し、災害対応や避難支援の機能を確保した防災活動拠点を形成するため、令和5年10月に「一団地の都市安全確保拠点施設」として都市計画決定しました。
- 今回は、新庁舎～船堀駅北口広場までの歩行者デッキを、船堀駅のホーム階まで延伸する都市計画変更を行い、平常時における鉄道利用者の利便の増進及びさらなる水害に強いまちづくりを行っていきます。

年度	一団地の都市安全確保拠点施設	船堀四丁目地区市街地再開発事業
令和2	災害に強い首都「東京」形成ビジョン(国・都)	準備組合設立
令和4	船堀駅前地区高台まちづくり基本方針	船堀駅前地区まちづくり基本構想
令和5	都市計画決定(新庁舎～船堀駅北口広場)	都市計画決定(市街地再開発事業 他)
令和7	都市計画変更(船堀駅北口広場～船堀駅)	←今回 組合設立認可(事業認可)
令和9～12	工事	



船堀四丁目地区一団地の都市安全確保拠点施設に係る都市計画変更（歩行者デッキの延伸）

都市計画原案について



都市計画とは

- 「住みやすいまちづくり」を行うためのルールです。自治体は、地域の実情において様々なメニューの中から都市計画を指定します。
- 一団地の都市安全確保拠点施設は、災害発生時に居住者等の安全を確保するために必要となる機能（避難場所の一時滞在機能や浸水区域外への移動を可能とする動線（デッキ）等）を有する施設です。
- 今回は令和5年10月に「一団地の都市安全確保拠点施設」として都市計画決定した、区役所本庁舎～船堀駅北口広場までの歩行者デッキを、船堀駅のホーム階まで延伸する変更を行います。

高台まちづくりについて

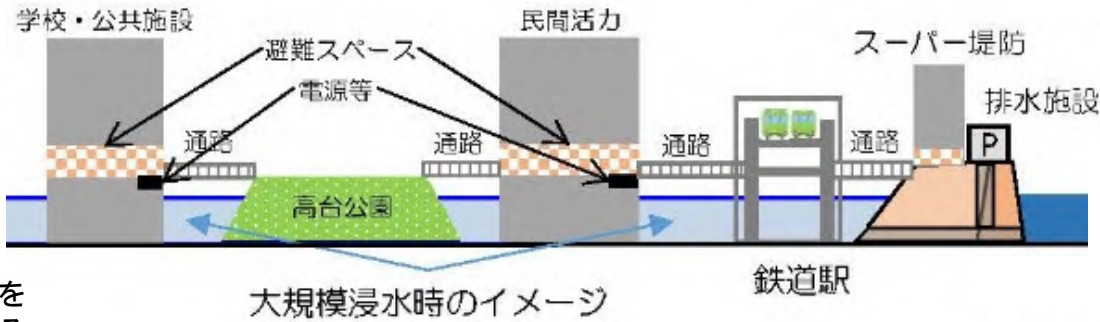
災害に強い首都「東京」形成ビジョン（令和2年12月策定）

- 高台まちづくりの考え方・取り組み方策をまとめたもの
- 国と都がモデル地区を設定し、地域に応じた具体的な検討

区内では...

- ・JR小岩駅周辺地区
- ・篠崎地区・中川左岸
- ・船堀地区 を選定

当地区の特性に応じ、建築物をデッキ等でつないだ建物群による「高台まちづくり」のあり方を検討

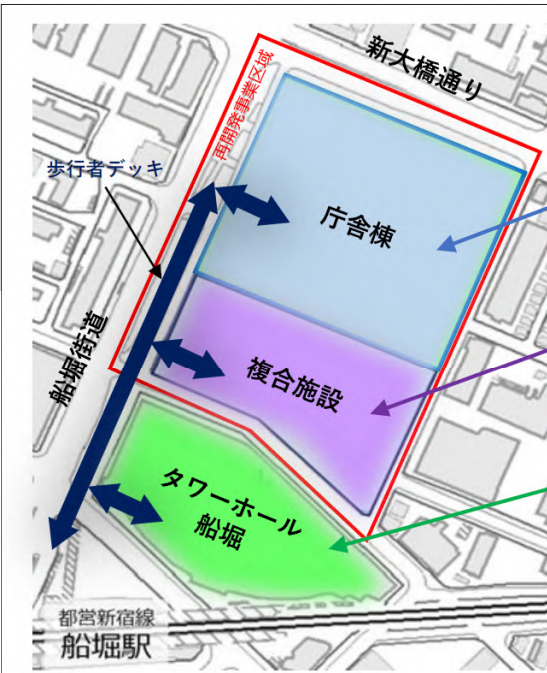


災害に強い首都「東京」形成ビジョン【概要版】（令和2年12月）を加工

船堀駅前地区高台まちづくり基本方針（令和5年3月策定）

高台まちづくりの方針

- 防災活動拠点の形成
- 待避スペースの確保
- 最低限の避難環境の確保
- 浸水区域外への非浸水動線の確保
- 浸水発生後の具体的な行動の検討



各施設は浸水深（A.P.+5.2m）以上のフロアに設置

【庁舎棟】災害対策本部

- 災害対応業務
- 情報発信
- 物資受入れ など

【複合施設】避難支援

- 待避スペース など

【タワーホール船堀】災害対応支援

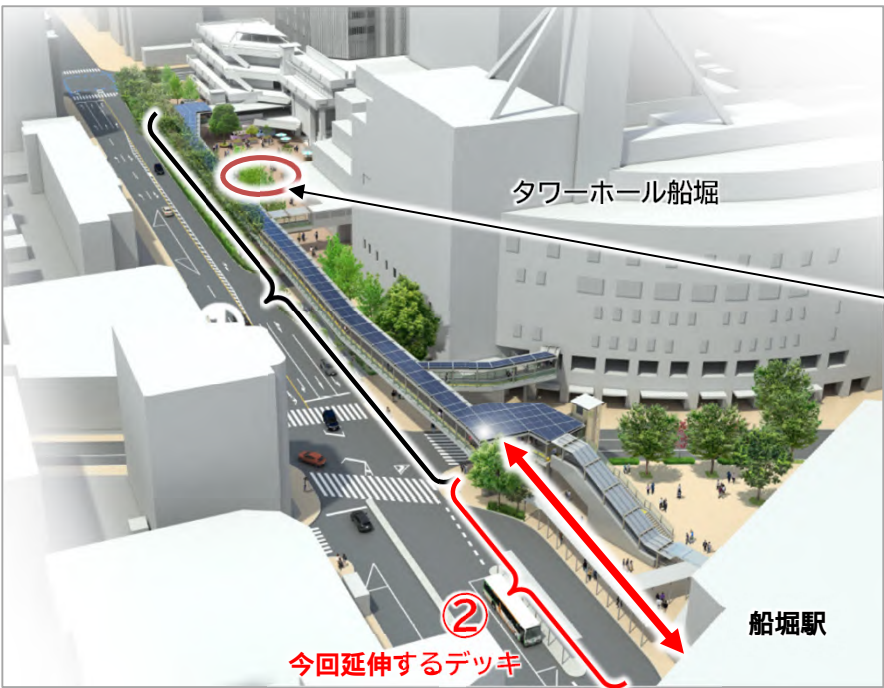
- 待避スペース（緊急避難所）
- 復旧・復興支援 など

【歩行者デッキ】

- 建物間の移動・物資輸送

図 防災活動拠点のイメージ

都市計画変更により期待される効果



平常時

【令和5年都市計画決定】
地上レベルとともに重層的な回遊に活用されにぎわいの創出に寄与



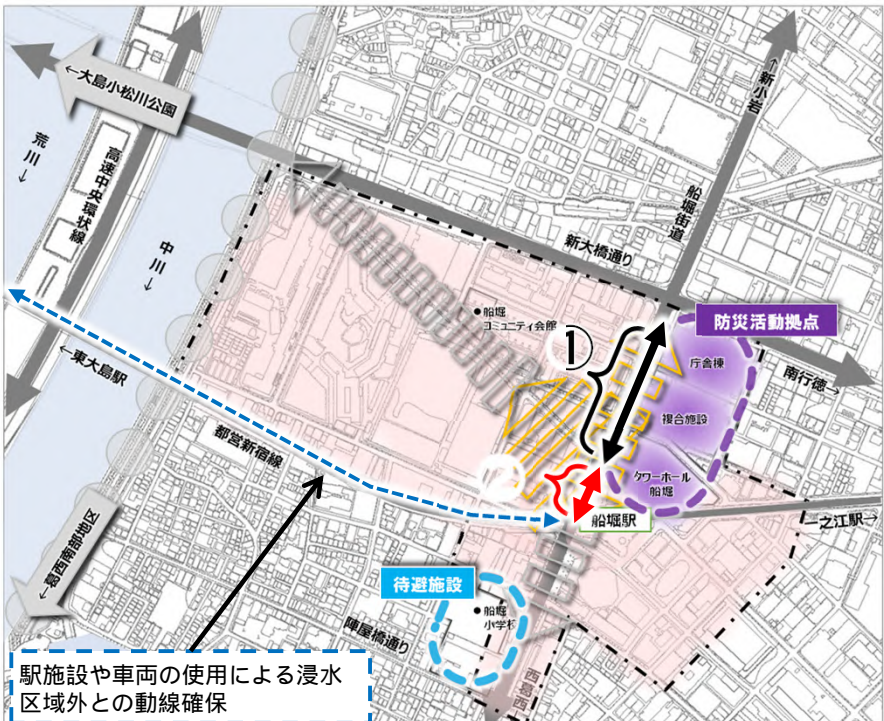
【今回の都市計画変更】
船堀駅まで歩行者デッキを延伸することで鉄道利用者の利便増進とさらなるにぎわいの向上

水害時

【令和5年都市計画決定】
庁舎棟、複合施設、タワーホール船堀による防災活動拠点の形成

また、地区計画において、「将来的には非浸水動線を船堀駅に接続することで駅南北にわたる一体的な高台まちづくりを目指す。」と記載

（【今回の都市計画変更】
駅施設や車両の使用による浸水区域外との動線確保



船堀駅前地区高台まちづくり基本方針（令和5年3月） 方針図 を加工